

ハートマークだより



マークの由来

医療関連サービスには、高い技術の裏付けとともにそれを提供する人々の真心や愛情が必要です。この医療関連サービスマークは、2つのハートによってより良きサービスを築き上げていくために医療機関と医療関連サービス事業者がお互いの心を通い合わせていることを意味し、3つの丸印によって国民がそのサービスに支えられていることを表現しています。

2021.3
No.19

◆ 2021.2 認定審査における主な改善指導事項について

1. 認定概況

今回は、申請件数(新規)375(19)件のうち、認定は374(19)件(新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため認定延長12件を含む)、非認定が1件でした。

認定の内訳は、完全適合241(8)件、改善指導事項付108(8)件、条件付13(3)件、となりました。

完全適合とは、改善指導事項が付されなかった認定をいい、改善指導事項付(条件付きを含む。)とは、評価項目中に下位評価項目が付されたものです。

※申請件数には前回の新型コロナウイルス感染症感染拡大のために延長及び延期件数含

2. 主な改善指導事項

(1) 全業務共通

従事者研修体制

(研修体制未整備、初任者・現任者カリキュラム未作成、研修項目の欠落、改善見直し検討の未実施・記録未作成)

初任者・現任者研修体制

(初任者・現任者研修の受講者欠落、研修記録未作成、研修記録未保管、修得状況評価の未実施)

健康管理体制

(健康管理未整備、雇い入れ時健康診断・定期健康診断の受診者欠落、産業医の未専任、健康診断実施後の措置不適正)

自己評価実施体制

(自己評価未実施、評価記録の未作成、評価改善検討未実施・検討結果の未作成)

(2) 業務別

① 在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務

酸素の濃縮装置の標準作業書

(定期見直し未実施)

液化酸素装置の標準作業書

(定期見直し未実施)

取扱い機種の使用マニュアル

(未整理)

緊急・災害対応体制

(教育・訓練の未実施)

② 院外滅菌消毒業務

医療用機材の処理

(標準作業書等の記載項目漏れ)

生物学的滅菌済の確認方法

(設置数不足)

◆「Good Job! コーナー」「こんなに頑張ってます！」

北陽ビル管理株式会社
社長室長 石田 和功



弊社は昭和44年創業以来52年間、山陰地方を中心に、事業を展開しております。主たる業務はビルメンテナンス業になりますが、他に地方自治体が導入している指定管理者制度による公共施設の管理運営、コンベンションのイベント関連事業、人材派遣等の幅広い分野でサービス事業を展開しております。関連会社の北陽警備保障(株)及び北陽福祉サービス(株)と連携し、IoT機器による機械警備などのセキュリティ分野から、介護・福祉分野まで様々な業務を複合的にグループ全体で受注することにより、お客様のニーズにお応えしております。

私共は、ビルメンテナンス業を通じて地域社会に貢献し、ビル内外の環境、地域環境ひいては地球環境を大切にするとともに、情報セキュリティマネジメントシステムISO27001認定取得による、情報管理体制の構築、更なる安全性の向上に努めて参りました。

平成6年に医療関連サービスマークを取得して以来、27年間にわたり、病院清掃及び介護施設清掃に携わっておりますが、これらの業務は医療分

野における感染管理に大きく関わるものであり、スタッフ教育、管理体制において日々改善を重ねております。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症に係る作業体制においては、消毒及びガウンテクニックの徹底など、院内感染及び弊社スタッフの感染防止に努め、エッセンシャルワーカーとしての責務を果たしております。

また、本年2月には、医療従事者の負担軽減を目的として島根県と公益社団法人島根ビルメンテナンス協会が共催で開催した、「新型コロナウイルス感染者退院後の病室清掃・消毒に関する研修会」に幹部社員及び従業員を参加させました。講師としてお越し下さった松江赤十字病院医師と感染管理認定看護師から、医療現場が求めるレベルの清掃・消毒の観点を直接学び、防護服等の着脱手順についても再確認いたしました。現在の危機的な状況にしっかりと企業として対応するため、今まで以上に感染防止のノウハウを蓄積し、実践に活かせるように研鑽を積んで参ります。

今後も、医療関連サービスマークの認定業者として、医療関連施設の安全・衛生環境の向上を目指し、医療機関の多様なニーズにお応えできるサービスを行う所存です。倫理綱領に掲げられているとおり、医療関連サービスの社会的影響の大きさを肝に銘じて、利用者、そして患者様から感謝される企業を目指して参ります。

◆ 医療現場からの声

社会医療法人高橋病院
法人業務管理室長 福澤 高廣



当院は、明治27年に開院し、令和3年で開業128年目を迎えます。「地域住民に愛される信頼される病院」を理念とする、北海道でも有数の歴史ある病院です。

現在の病院は、回復期リハビリテーション病棟60床、一般病棟59床(地域包括ケア病床44床、一般病床15床)、

介護療養型医療施設60床、計179床で構成されており、函館市の位置する北海道の道南地域においては回復期機能の役割を担っております。

法人内では、高橋病院本院を中心として、介護老人保健施設「ゆとりろ」、グループホーム「秋桜」、「なでしこ」、認知症対応型デイサービス「秋桜」、小規模多機能ホーム「なでしこ」、訪問介護ステーション「元町」、訪問リハビリステーション「ひより坂」、通所リハビリテーション「元町」、居宅介護支援事業所「元町」、「なでしこ」、ケアハウス「菜の花」を有しております、『つながるケア』『つなげるリハ』を合

言葉に地域への貢献とグループ内の連携強化による良質な医療・介護の提供を目指しております。

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関全体が大きな変化を求められる年になりました。このような状況の中でも、良質な医療提供体制の維持継続を行うことが重要であり、そのためには、病院のパートナーである事業者の皆様にも求められる変化に対応していただき、一体となって病院運営を行っていく必要があります。

当法人では、2019年から経営コンサルティング会社の協力を得て、能力開発制度、給与制度を含めた人事制度全般の見直しに着手しました。キャリアパスを見直し、給与等の処遇上のルールを整理し、より高い職位でマネジメントや専門性を發揮する職員や一定期間に高いパフォーマンスを発揮する職員に対してインセンティブを持たせる仕組みとし、職員のモチベーションを維持・向上させることと、限られた原資を適正・公平に分配することにより人材育成と定着を図ること、働き方改革への対応を行うことを狙いとしています。

このように、今後も求められる変化に対応しながら、「地域住民に愛される信頼される病院」を築き上げていきたいと考えております。